

製材業における丸のこ盤を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	12~13	クロスカット機（自動送材横切り機）にて手動で木材（45mm×35mm×1000mm）をカット作業中、丸ノコの近くに前工程で残っていた端材（45mm×35mm×10mm）が丸ノコで反発して右目を負傷した。作業時、直前に寸法セットの為に解除していた安全カバーを閉じるのを怠っていた。	33	1~9
3	16~17	工場内で機械を使用して木材を加工する際に、機械に設置されている刃物に付着したゴミを取り除こうとした。電源を落とさずに作業を行ったため、手を挟み右手親指と人差し指の間を切傷した。	55	50~99
3	8~9	工場ですてき加工をしているとき、フリークロスで安全カバーはついているが、ノコが上がりきっていなかったため安全カバーの下に手が入り、ノコの空回りに軍手が絡まってしまい、右手甲の親指付け根から手首にかけて11針縫うケガをした。	34	30~49
3	16~17	木材を製材するギャングプレーナで丸鋸の掃除をしようとして、2枚の丸鋸のうち、手前1枚は静止し、奥の1枚はまだ惰性で回っている状態で、手前の鋸が止まっているので奥も止まっていると思い込み、手が丸鋸に当たり裂傷した。	32	1~9
7	14~15	工場内で耳たちの機械で前取りをしたところ、機械の搬送に挟まれて右手小指を負傷した。	53	30~49
7	5~6	工場内のNC加工機でCLTの成形加工を行っている時、NC加工機のルーター部動作中に機械を停止せずに寸法の確認を行ったために、ルーター軸に追従してきた丸鋸刃（停止中）で右腕を負傷した。	33	100~299
	18~	本社工場内で機械を横切機でカットする作業中、カット後の端材の除去処理をしよ		50

7	19	うと右手で材料を押え左手で除去する際、誤って足でフットスイッチを踏み安全カバーが下がり、材料との間に手が挟まれ丸鋸が上がって右手親指を切断した。	57	～ 99
9	10～ 11	機械（トリマー）で長さ3650m/m材3000m/mにカットしていたところ、端材を処理するベルトコンベアにカットした材料が引っかかりそれを除去する為、一段下に降りる時足元に気をとられ、右手が廻っている丸鋸に触れ、薬指小指を切断した。	30	50 ～ 99
10	16～ 17	BOセット用に、ハンドソーでカットしたゲタ材を取ろうとした時、まだ惰性で回転していた鋸の刃に右手の甲が接触し負傷した。	36	10 ～ 29
10	16～ 17	杭木の先を落としていたところ、長かったので、杭木を横にし長さを揃えようと切ったら、右手にはめていた手袋の親指部分が丸側に巻き込まれ親指の先を切断した。	47	100 ～ 299
11	11～ 12	作業場で、送材車から流れてくる板（長さ12尺）を、6尺の長さに切る作業中、誤って丸鋸に手が触れてしまい、右指（第4、5）を負傷した。作業中、手袋は着用していた。	37	10 ～ 29
12	17～18	当社製材工場で、木材の耳取り等の製材作業に従事していた。両面耳摺機の吸い込み口におが粉や木屑等の細かいゴミが詰まって機械トラブルを起こすことのないように、掃いたり掻き出したりする専用の角材（90cm×4cm×2cm、重さ300gの軽いチップ材）をテーブル上の作業に邪魔にならない場所に置いておくのだが、被災時は、その角材が真っ直ぐでなく、幾分か下側に反れていたため、突然強風が吹いたとき、その反れた部分が軸となり（300gと軽いこともあり）、回転するようにフラフラとして、斜めに（回転する鋸の刃の方に）ずれて入っていった。慌てて元の位置に置き直そうと、角材を手を持った瞬間、角材が回転する丸鋸の刃に触れて、パーンと勢い良く跳ね上がり、耳摺機のヘッドと角材の間に右手を挟まれ、右手人差し指と中指を負傷した。その際、丸鋸の刃は回転していたが、右手から30cm離れた奥の位置にあったので、手は丸鋸に触れていない。被災後直ちに、現認者（直接見てはいないが近くにいた）が被災者の手袋を外して、負傷した手を水洗いし、ガーゼと包帯を巻く等の応急処置を施した。被災時に指は切断されていな	41	1～ 9

かったが、医師が家族（両親）の承諾を得たうえで、切断手術を行った。

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)